



9期生合格状況

大学入試改革初年度及びコロナ禍等で、いろいろなことに振り回された9期生ですが、今年度もほとんどの大学で予定通りの入学選抜が行われました。その結果については現在まとめているところです。国公立大学の後期試験の発表は3月23日までですが、3月26日以降に追加合格の発表があります。過去、3月28日に富山大学、3月31日に静岡大学に合格が決まった卒業生もいます。したがって、最終結果をまとめ終わるのは4月に入ってからになります。また、合格大学だけでなく、受験大学に関する合否、その受験生の評定平均・模試偏差値を一覧表にしたものを来年度の「進路の手引き」に掲載します。昨年6月にも「進路の手引き」（緑の表紙）を配布しているので、どのようなものかは覚えていることと思います。

今回は、現段階での9期生の国公立大学の合格状況を報告いたします。

◎ 国公立大学合格者（3月24日現在 42名）

- ・ 総合型選抜…6名（はこだて未来大1、東京農工大3、東京海洋大1、東京都立大1）
- ・ 学校推薦型選抜〔指定校制〕…5名（東京都立大5）
- ・ 学校推薦型選抜〔公募制〕…2名（筑波大1、東京農工大1）
- ・ 東京都立大学〔工業枠〕…1名（東京都立大1）
- ・ 一般選抜〔前期〕…21名（北海道大1、埼玉大1、千葉県立保健医療大1、東京学芸大3、電通大1、東京農工大2、東京都立大5、横浜国立大1、神奈川県立保健福祉大1、静岡大2、名古屋大1、京都府立大1、神戸大1）
- ・ 一般選抜〔後期〕…7名（岩手大1、埼玉大1、千葉大2、東京学芸大1、東京農工大1、東京都立大1）

また、昨年度の卒業生である8期生からは以下の国立大学合格の報告がありました（すべて各1名）。

北海道大学、東北大学、電気通信大学、新潟大学、京都大学、鳥取大学、九州大学

1・2年生の皆さんへ

今年度は6月と12月に進路希望調査を行いました。そのときの国公立大学への進学希望者は以下のとおりでした。

1年生…6月 68.8%（未定 20.0%）、12月 76.5%（未定 13.2%）

2年生…6月 81.3%（未定 7.4%）、12月 77.8%（未定 3.5%）

3年生…6月 73.0%（未定 1.0%）、12月 56.7%（未定 2.0%）

多数の人が進路希望先として国公立大学を選んでいますが、現実は大変厳しい状況です。9期卒業生は210名ですから、国公立大学合格者42名は全体のちょうど20%ということになります。

3月11日には1年生、12月17日には2年生向けに進路講演会がありました。その中で特に印象に残った講師の話しが2つあります。どちらの講演でも話されていた内容です。覚えていますか？その一つは「勉強と作業の違い」です。問題を解く、解けた、解けなかった、わかる、わからない、ここまでは作業でしたよね。ここから先の解き直す、質問する、解き直す、ここが勉強でした。もう一つは、「大学入試失敗の理由 ベスト10」です。1位に挙がったのが苦手科目・分野をそのままにしておいた（76%）、2位は日によって学習時間にムラがあった（60%）、3位は教科書を軽視して、基礎・基本が身につけていなかった（49%）でした。**苦手科目・分野をそのまま放置していたらダメだ**ということです。計画を立てないで勉強をすると好きな科目や得意な科目ばかりを勉強することになるでしょう。その方が楽しいですからね。とにかく苦手科目・分野を勉強する時間を積極的に作りましょう。そして勉強の仕方も含め、わからないところをどんどん先生に質問してください。この春休みを有効に使われますように！